



第11号 1996年9月

発行：萩ネットワーク協会  
 〒758 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内  
 TEL 0838-25-3131 FAX 0838-26-5458

指月山西側の海岸「西の浜」は静かな所です。石彫公園を訪れた人を海へ誘う石の門を通り抜けると、日本海が広々と開けています。

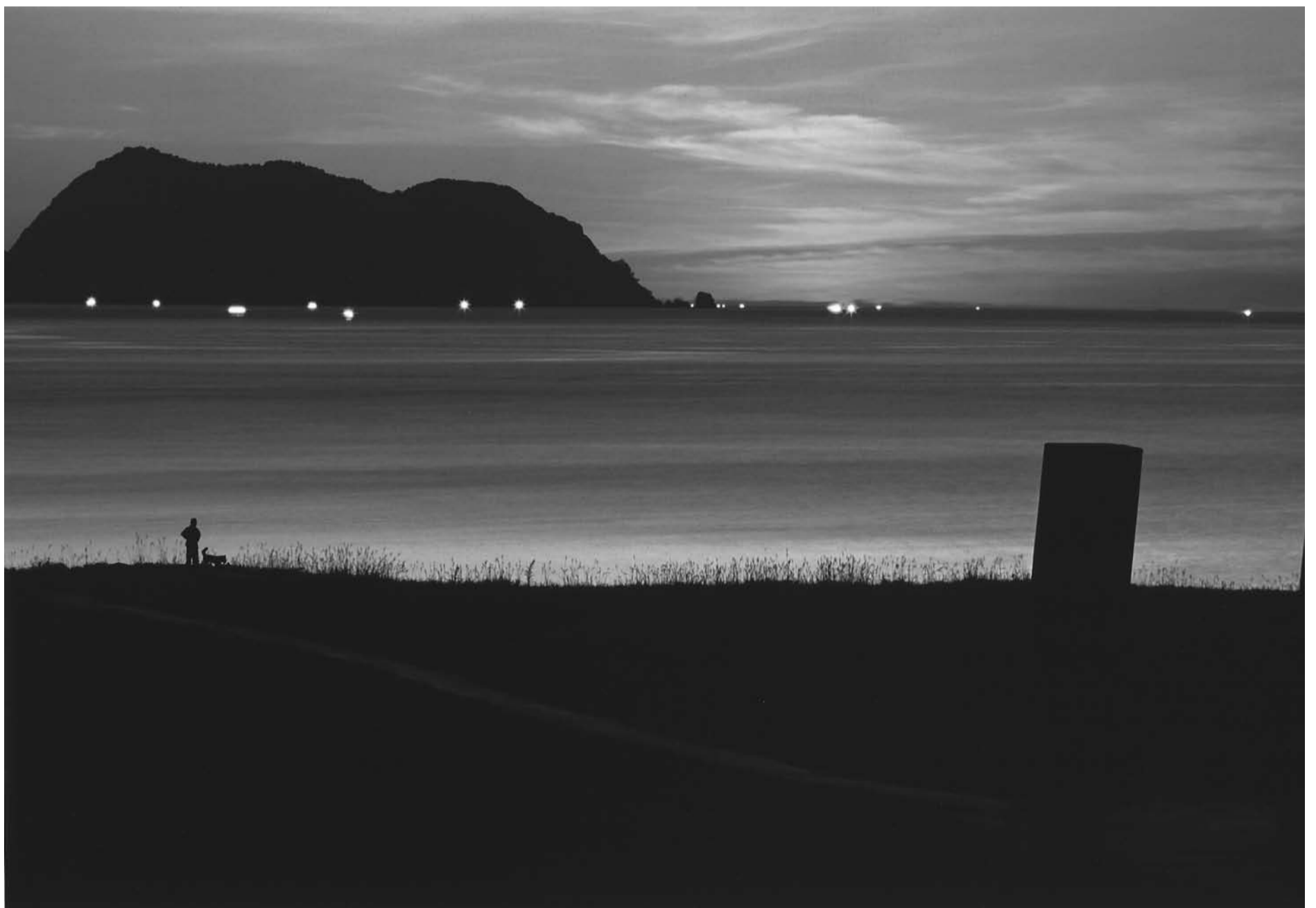
太陽が水平線の彼方に沈むと、空と海が暮色に染まり、沖合に浮かぶ漁船が次々と漁り火を灯し始めます。

「西の浜」暮色

この瞬間に出会った人なら誰でも、しばらく足を止め、自然と人間が織りなす美しい光景に見とれるでしょう。太陽は毎日昇っては沈んでいます。こんなに素晴らしい夕景を眺められるのは、自然の豊かな萩ならではのことで、萩市民は自慢の種にしてもよいでしょう。

—西の浜の夕景—

自然と人間のハーモニー



目次

- 山口県立萩美術館・浦上記念館がいよいよオープン、ズームアップ（村上允俊氏）……………2～3
- 特集・ふるさとのあの味・この味、会員だより、懐かしの店……………4～5
- 萩毛利のルーツ安芸吉田町を訪ねて、我が家の言い伝え、新商品夏みかんの香り……………6
- 社長インタビュー（ピアシティはぎ・末永光利）、松陰遺書・留魂録、私のお店……………7
- 情報アラカルト……………8

皆さんからの情報をスタッフ全員お待ちしております。どんな情報でもかまいません。あなたの声を聴かせてください。

萩の晩秋を飾る一大イベント萩・時代まつりが今年も開催される。約260年の伝統を誇る平安古備組と昨年12年振りに復活した古萩の大名行列が、萩市内を練り歩き、維新の里に一大時代絵巻を展開する。



このまつりは市民や観光客に萩に伝わる伝統の「大名行列」を広く知ってもらおうと昨年から行われているものである。昨年も、この時代まつりを一目見ようと市外からも多くの人が萩を訪れた。  
 なお、宿泊等の混雑が予想され、宿泊を希望される方は早めに萩市観光協会へ。  
 とき 11月9日（土）・10日（日）  
 ところ 萩市民体育館・旧萩街道  
 内容 時代行列（10日のみ）、ふるさと商人市、時代展ほか  
 問い合わせ 萩市観光協会  
 ☎0838・25・1750

維新の里に

一大時代絵巻を展開

—萩・時代まつり—

11月9日・10日



# 町づくり、どよう生かせるかが「鍵」

## いよいよ10月開館！

### 山口県立萩美術館・浦上記念館

#### 「ふるさと萩への帰省が楽しみになります」

大阪府吹田市 満田 武さん(29歳)

毎年、帰省はお盆や年末年始といった程ですが、少しずつ変化していく萩の様子を毎回楽しみにしています。

最近では、やはり萩有料道路の開通やケーブルテレビなどといったものが印象的でした。しかし、何ととっても、先月帰省の際に目の当たりにした「山口県立萩美術館・浦上記念館」です。外観の建物も素晴らしいですし、ネットワークでも紹介されましたがコレクションの内容も素晴らしいようですね。今まで萩は、全天候型の観光地ではなかったので、将来的に暑い夏や雨天、寒い日などには特に有効であると思います。また、文化の町萩に、かつてない新しい文化を垣間見ることができるとも面白いのではないのでしょうか。

私も妻もふるさと萩です。萩の発展のために、新しいスポットが完成したことを宣伝し、微力ながら萩に貢献できるように努めたいと考えています。

本当に素晴らしい施設整備に感銘しています。

#### 「萩の活力源として大きな期待を」

鶴江1区 伊藤スエさん(79歳)

山口県立萩美術館・浦上記念館の建設工事が日を追うごとに進む様子をずっと見守ってきたような気がします。5月、待望の美術館が完成。心待ちにさえしてきた施設がやっと姿を表してくれた、そんな気持ちでした。

萩の場合、観光などの要素となる多くの文化財や史跡はあるものの、十分な観光サービスがされてきたのか、不安な面も感じていました。また、萩焼といっても、観光客をリピーターとして再三萩に足を向けさせるだけの魅力を備えたものなのか。最近の観光客減少の裏側に、そんな思いを抱かずにはおれない心境でした。観光立市を標榜する萩にあって、魅力の素となる要因が増えることは本当に有り難く、町全体が潤うことを願うのは、私だけではないはずです。

聞くところでは、世界的なコレクションであるとのこと。十分なPRをもとに全市民で大切に育てていかなくては、と考えます。萩の将来に一つの素晴らしいきっかけのようなものがもたらされようとしています。大きな活力の素となるように、期待しています。



富嶽三十六景 神奈川沖浪裏

史跡と文化の町・萩に、新しいスポットが加わることをこれまで何度か紹介してきた。このスポット、もうご承知のとおり「山口県立萩美術館・浦上記念館」である。施設は5月に竣工、10月14日の開館を待つばかりという現状である。いやがうえでも市民間でこの施設に対する期待感が高まっている一方、特に観光面などによる経済効果は相当なものとなってきた。商店街では、観光客用

に専用の案内板も設置し、浦上記念館を巻き込んだ商戦も練られているという。山口県立萩美術館・浦上記念館は、浦上コレクションを中心とした浮世絵版画、中国陶磁など相当数の作品展示がされる。浦上コレクションとは、萩市名誉市民である浦上敏朗氏が40年近くにわたり収集してきた美術品群のこと。浮世絵版画2300点、中国陶磁2300点、朝鮮陶磁86点、中国青銅器など43点がそれ

#### 萩の魅力を広く打ち出す契機として期待を！

10月の県立萩美術館・浦上記念館開館につきましては、市民はもとより全国の萩ファンの皆さんに喜んでいただけるものと考えております。この施設は、萩の自然と文化、史跡を建設の基本コンセプトとし、設計についても丹下健三氏の手によるものでご満足いただけるものと思っています。特徴の一つとして、萩の町並みが施設の各所から眺められるよう配慮もしており、町との調和を大切にしたいということをごさいます。

また、何よりも感じていただきたいことは、ここに展示保存される作品はどれも素晴らしいものであるということです。浦上敏朗氏の世界的コレクションは正に世界へ誇れるものであり、欧米などの主要美術館から信頼されるパートナーとしての位置付けもされるであろうものごさいます。

萩は、日本でも有数な歴史と文化を誇り得る町であります。浮世絵版画や東洋陶磁は世界にその美が認められている文化であります。この取り合わせは、これからの将来を考えるうえで、萩の魅力を更に強くしてくれるものであると確信しております。広域的な視点に立った萩らしさを打ち出すための良い契機としてとらえていただき、文化の町萩に調和できるよう育てていただければ、必然的に萩の活力も増すことになると思います。

浮世絵版画や東洋陶磁の魅力は、美しい色彩や絵の中に、手にとってみたいという親しみがあると思います。まず、この魅力について実感いただき、是非ともその優れた作品を堪能いただきたいものです。そして、この美術館が全国に愛され誇れるスポットとなりますよう、市民の皆さんとともに地道な努力をしていきたいと考えております。

山口県立萩美術館・浦上記念館 館長 足立 明男

である。これに加え、同館への有志寄贈や購入分が山口県立萩美術館・浦上記念館の収蔵品となる。ところで、萩に何故浮世絵版画なのか、何故東洋陶磁なのか。どうして、萩焼ではないのか。これについては、当然浦上敏朗氏から世界的なコレクションの寄贈があったからであり、そのお陰で50億円にも及ぶ施設が萩へ建築された訳だが、萩と浮世絵版画などの取り合わせは、市民らの期待どおり萩の活性化の要因となり得るのか。関連記事として掲載しているが、山口県立萩美術館・浦上記念館初代館長である足立明男氏によれば、「萩の歴史と文化、これは全国に誇る

べきものであり、今に残された萩の町並みは貴重で歴史的な遺産である。そして、独自の文化を持つ浮世絵版画との異なる取り合わせは、萩らしさを追求していくための良い契機となるのではないかと。あとは、この美術館を市民に本当に愛してもらい、生かしてもらえば、将来的に萩の町が活気に溢れる町となるはず。将来的な展開が楽しみ」との意見。

今回、寄贈などにより展示を予定しているコレクションは相当評価が高い。浮世絵版画は、葛飾北斎、喜多川歌麿、東洲斎写楽、鈴木春信らの代表作で、世界的にも数点しか残されていないというものがほとんど

萩と会津若松、歴史的な因縁が残る町として知られる。前号(第10号)で、会津若松市での最近の動きについて紹介したが、今後萩・会津の交流も進められよう。

ところで、今回は両市の繋がりの中で、興味深い歴史的な出来事があったので紹介してみたい。

維新の風が吹き、長州藩士が歴史的な役割を果たしたとされる時代の中、出来事の一つとして戊辰戦争(1868年)が起きた。当時、萩出身の長州藩士の多くがクロイザップされ、現在においても語り継がれている。それらの人物を育てたとして、また早くから海外へ目を向け、ずっと先の日本を見つめていたといわれるのが吉田松陰。萩から誕生した偉大な先人吉田松陰が1852年会津若松市を訪ねている。

松陰が現在の青森県弘前市まで見聞を広めるため旅したことは有名であるが、この途中後に因縁の地となるべき会津若松市へ立ち寄っている。これについては、吉田松陰の生きたまを当時の日記などから綴った吉田松陰全集全10巻(大和書房)の中の第9巻(東北遊日記



会津若松市 鶴ヶ城

人柄に触れ、松陰も感銘を受けた町それが「会津若松」

中に記されている。嘉永5年1月29日、予てから親しかった会津藩士黒河内傳太郎を訪ね、翌月6日までの間滞在している。この間、松陰は会津の人たちの生活、人柄などを中心に熱心な観察をし、日記に書き留めている。「學政は童子10歳以上は必ず素讀を學ばしめ、15歳以上は必ず弓馬槍刀を學ばしめ、18歳以上は必ず長沼氏の兵法を學ばしむ。午前文を學び、午後武を講ず」と。幼い頃から文武の両立を志し、勤勉であった会津の土地柄の印象について記している。このほか、一般の庶民については、大変純朴であり、純真な人柄であったとも。また2月6日には、黒河内の案内により、ひそかに日新館の見学もしている。

当時、松陰はこの会津の地が、後の維新の流れにより惨劇の場となることを予測し得るはずもなかったであろう。しかし、萩が生んだ偉大な先人吉田松陰が会津に深く興味を示し、東北見聞の旅の中で8日間も滞在した。現在に生きる我々萩市民は、こうした事実を改めて運命的な繋がりのようなものを感じずにはおれない、そんな歴史の中のひとコマであった。



ど。また古陶磁についても、中国や朝鮮の永い歴史にみる魅力多い作品群で構成される。

このほか、保存・展示といった建築面においても充



三彩騎馬女子俑 (唐)

実した施設であり、申し分ない受け皿であることに違いない。山口県立萩美術館・浦上記念館についてよくこう評される。「スタートラインに立った瞬間から、こ



難波屋おきた 喜多川歌麿

こに必要な3要素(収蔵内容、施設、スタッフ)は全て揃っている。あとは、磨きを掛けるだけである。磨きを掛けるためには、美術館スタッフの手腕はもち

るんであるが、どれだけ愛せるか、萩市民にかかっているといっても過言でない。

山口県立萩美術館・浦上記念館の発案にあたり、こ

れから萩と上手く調和し、育てられることを心から望むものである。

### 開館記念行事

●蒐集家浦上敏明の眼  
―館蔵名品展示―

浦上敏明氏自身が、厳選した作品で構成。錦絵以降の浮世絵の展開が概観できる浮世絵版画195点、新石器時代から明代までの中国陶磁153点、高麗から李朝の朝鮮陶磁79点を展示。浦上コレクションを核とする館蔵名品を心行くまで堪能できる(浮世絵については作品保護のため全作品を展示替え)。

会期 10月14日(月)～12月23日(月) ※月曜休館。ただしオープン当日

は開館。月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日が休館。午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで) 入館料 一般720円 小・中学生300円

●中国 仙人のふるさと―山東省物産展

齊・魯の国といわれた春秋・戦国時代から、王侯の封国が林立し、経済、文化が栄え、繁栄をきわめた漢時代までの山東省の豊かな新発見の発掘資料を中心に、人々の死生観や社会生活のありさまを映し出す。

会期 平成9年1月5日(日)～3月16日(日) 午前9時30分～午後4時30分 ※月曜休館(但し、1月6日と祝日を除く)

## ズームアップ



TBSテレビ  
むらかみまさとし  
レポーター 村上允俊氏  
(萩中学校第46期生)

TBSテレビ「モーニングEye」で社会派レポーターとして活躍している村上允俊さん。全国ネットで放送している番組なのでご存じの方も多いのでは。様々な現場を歩いてきた村上さんが、今、萩での月日を思い出しながら胸の内を熱く語ってくれた。

現在の田万川町江崎に生まれ、中学校からの4年間を津守町で過ごしました。旧制萩中学校に入学したのは昭和16年4月、時は正に太平洋戦争へと進む風雲急を告げる軍国主義だけなわの時代でした。

学校での明け暮れも時代を反映して厳格そのもの、ゲートルをまいての登下校に始まり、真冬の寒風吹きすさぶ中を上半身裸で松陰神社までの駆け足などは

序の口で、軍事教練という授業があつて、いかめしい配属将校の指揮のもと、小さな体に重い歩兵銃を担いで、「オイチニ、オイチニ」と半べそをかきながら行軍するというのが、今の中学生には想像もできない時代でした。

それでも4年生のほぼ1年近く学徒動員で過ごした光海軍工廠での生活に比べれば、萩での日々はバラ色の毎日でした。油まみれで旋盤と取り組みクタクタに疲れて寮に帰ると、15畳の部屋に12、13人がひしめいている。食事は芋や大豆がまぶりついた主食、底の透けて見えそうな薄い味噌汁に一菜。せいぜい麦飯だっただけにシヨックは強烈で、よく夕方になると萩の空に向かって帰りたいと

叫んだものです。今、当時を振り返ってみると、思い出は歳月を美しく包み込んで、懐かしさの方がよみがえってきます。

現在、TBS系列で月曜から金曜まで毎朝8時30分から始まる「モーニングEye」に、社会派のレポーターとして出演しています。この番組は全国ネットですが、残念ながら山口の方では放送しておらず、一番見てもらいた萩で私の活躍している姿を見ることができません。

### ふるさとでの思い出は 歳月を美しく包み込む

昭和46年4月にレポーターとしてスタートして今年の3月で丸25年が経過しました。その間に取材し放したものは、連合赤軍浅間山荘事件・ロス疑惑・日航機事故・トリカブト事件・オウム心理教団事件など、国民に衝撃を与えたものがたくさんあります。特にトリカ

母と同年(明治25年生)ということで親近感が増し、ついに「きんさんぎんさん」に母を見た」という本を出版、今では「名古屋のおふくろ、東京のせがれ」といったお付き合いをしています。

萩への想い  
先年皇太子殿下ご夫妻の萩行啓に同行して、約50年



5、6年前から事件事故だけでなく明るい話題作りもすめ、山形県鶴岡市の人面魚騒ぎの火付け役を演じたり、4年前にはきんさんぎんさんを取材、英会話を教えた特集が話題を呼びました。82歳で亡くなった

10月の総会に向け、心温まるおもてなしができるようにと、引受期(25・35・45・55歳)一同準備に追われています。会誌も9月にみなさんのお手元に届けられると思います。今年は今春3月に完成した新しい体育館での初めての開催となります。



萩商たちはな会総会  
引受期代表  
小茅 稔さん

「総会で、懐かしい母校や萩の思い出などを語り合い、親交を深めていただきたいと思います」。多くのみなさんの参加を引受期一同お待ちしています。市外からの参加も大歓迎です。秋の夜長の一時を、母校の思い出とともに過ごしてみませんか。

とき 10月19日(土) 午後6時  
ところ 萩商業新体育館

### 萩ガラスが当たります

ふるさとクイズ

次のクイズの正解者の中から抽選で、30人の方に今人気と呼んでいる笠山の玄武岩で作った萩ガラスが当たります。

萩市にはJR山陰本線が走っています。学生時代に通学などで利用された人も多いのではないのでしょうか。さて、次の問題が分かりますか。

問1 萩市内には現在いくつのJRの駅があるでしょうか。

問2 左の写真の駅名は

応募方法  
はがきまたはFAXで住所・氏名・答え、萩ネットワークへのご意見を記入のうえ、〒758萩市大字江向510番地 萩市役所広報課内萩ネットワーク協会「ふるさとクイズ」係へ(FAX 0838・26・5458)へ

\*当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

ゆつくりとくつるいだ  
雲囲気の中で

次第に同窓意識も強まってきました。

当日は、みなさんにゆつくりとくつるいだ雲囲気の中で楽しんでもらおうと思っております。ビールやお酒なども十分に用意しています。また、今年は福引きによる景品も、例年以上に豪華商品を用意しています。



# 今が旬！！ ふるさとのおの味、この味

子どもの頃食べたあの「おふくろの味・ふるさとの味」は、忘れる事なく残っているのでは。今月号では、懐かしいふるさとの味、新しいふるさとの味をお伝えしましょう。

## 海、山の幸が味わえる・秋市

季節に応じた

新鮮な魚介類の

加工製品

大井浦漁協



日本海から吹く風によって磯の香りが漂う大井地区。ここ大井浦漁協では、季節に応じて秋近海で獲れる魚介類の加工品を製造・販売している。全国に出荷されていることと、存じの人もいるだろう。パフンウニのアルコール漬けの甘塩漬け。わかめにしその香料を入れた「しそわかめ」、みそ汁のだしとりの「いりこ干し」など豊富な海産加工品が揃っている。最近では、秋で水揚げされたアジを開き加工（一夜干し）したものがよく出るとのこと。また、「うにめし」も、秋の味を十分に堪能していただけること。

「ふるさとを遠く離れていても、いつでもふるさとの海の幸を味わっていただけます」と、工場長の松浦さん。

同漁協では、注文に応じ

た宅配（送料別）も行っていることである。

大井浦漁協食品工場

TEL 0838-28-1111

FAX 0838-28-0830

0838-28-0830

塩分控え目で健康食品としても人気上々

木間の「神楽みそ」



秋市木間の「神楽みそ」は、10年前から地元の人々が自分たちだけで作っていたものだが、味の良さが評判となり市販されるようになった。

地元の白米と国産の大豆・塩だけを使い、一切添加物は使用しておらず、昔ながらの味を守りながら作られている。また、健康に配慮し塩分控え目のちよつと薄味で、大豆の香りがみそにうまく生かされている。最近の健康ブームで、塩分控え目のこの神楽みそを買う人は多いと聞く。

みそには米みそ、麦みそ、合わせみその3種類がある。米みそ1kg480円、麦みそ1kg450円、合わせみそ1kg470円。

JA秋市山田支所木間事業所

TEL 0838-27-0710

## 特産品の酒と鮎料理・川上村

日本で

初めてのお酒

「柚子リキュール」

岡崎酒造場

川上村は、昭和16年に国の天然記念物に指定された日本で唯一のユズ自生地である。

そのユズを利用したのが、大正10年創業の岡崎酒造場の「柚子リキュール」。柚子の果汁と日本酒をブレンドした日本で初めてのお酒で、若い人から、女性やお酒の弱い人でもおいしく飲み、口あたりの良いレモンスカッシュ風の酒である。秋市内のホテルなどで、食前酒としてよく出されている。

「村おこし商品として、特産の柚子を利用した商品ができないものかと、山口県工業試験場と連携して出来上がったものです」と、3代目社長の岡崎圭之助さん。この柚子リキュールを買いに来る女性客も多い。よりおいしく飲むには、よく冷やしてから飲むことだそう。



また、この岡崎酒造は本醸造酒「長門峡」でも有名である。社長曰く「甘口（う

まくち）であり、さらりとした後味が評判がいいですね」。東京方面からの注文が多いとのこと。この長門峡、山口県内産の米を吟味して選別したものしか使わないとのことである。



柚子リキュール1本600円  
宅配（送料別）  
柚子リキュール6本入り3800円（箱代を含む）、12本入り（7200円）  
長門峡 上選1本1890円 清酒1650円  
岡崎酒造場  
TEL 0838-54-2023  
FAX 0838-54-2220

鮎料理や

季節ものの料理

でもてなし

お食事処「山酔い」

川上村の阿武川温泉側のお食事処「山酔い」は鮎料理が食べられる店として知られる。この店の板長・浅見勉さんのお勧めは鮎の塩焼きである。鮎の単品料理は、

## 手づくりの味が自慢・須佐町

地元で獲れた魚を

真心こめて

手づくり加工

ジヨイフルセンター

須佐

豊かな自然とホルンフェルスで有名な須佐町。ここに、平成6年4月に須佐漁協婦人部によってできた水産加工直売所・ジヨイフルセンター須佐は、須佐近海



明倫小学校時代、蓮田の畦道が通学路の遊び場だった

家が商売（電気屋）をしていて、子供の頃から家事を手伝っていたのであまり遊んだ覚えがないんです。だから、通学路が遊び場のようなものでした。明倫小学校付近はみんな蓮田だったんですよ。今の商業高校のグラウンドも、駐車場のところも...。その中を通っている畦道が近道になっていて、家に着くまでに泥んこになっていたりしたこと。楽しい思い出です。他には、住吉祭りの御船や花火大会、秋の天神祭りの大名行列などが懐かしいですね。近いので毎年帰っています。吉田町付近も随分変わったなと感じます。

みんな、萩が好きなんです。

...会員だよ

崩れかけた土堀からのぞく夏みかんを眺めながらの通学

高校時代は萩市内に下宿していました。気が変わったり、崩れかけた土堀から覗いたとき、夏みかんがずっと続いていた景色を鮮明に思い出します。道は今より狭く、舗装なんか無かったと思いますよ。数年前、通学路を歩いてみたのですが、堀内はまだ昔の面影が残っています。田町や城東付近にあっ

た土堀はほとんど無くなっており随分町並みが変わっていて、寂しい気がしました。軟式テニスを今でも楽しんでいますが、数年前、筑波市のソフトテニス愛好家の集まりに参加して、高校時代ペアを組んでいた陽君と30年振りに再会し、感激しました。

今、秋は静かで、落ち着いた良い町だなと思います。帰ったときには、夏みかんの湯飲みをお土産に買います。

今の落ち着きを大切にしたい街づくりをして欲しいですね。茨城県稲敷郡 長嶺哲夫さん（阿武町出身）





TEL・FAX  
08387・6・2653

### 特産の赤米に チヨコレート味を ブレンド

「あがりませ山口を」

その昔、須佐之男命が天より降り立ちこの地を治めたという伝説が今も残る須佐町は、神話・伝説を現在に伝えるかのように「赤米」が大地にいぎづいていく。須佐町の特産であるこの赤米を利用したお菓子が「おいだませ山口を」である。赤米とソフトに焼きあげたお煎餅を、甘さをおさえたチヨコレートで練り合わせたもの。米の持つ香ばしさが口に残りなかなかの味である。一度食してみたい。

申し込み つわぶきの館  
TEL  
08387・6・2266



### 山の幸でふるさとを・・・旭村

ふるさとの味を

いっぱい詰めた

ゆうパック

佐々並郵便局

地元の特産品だけを使った鍋物はいかがだろうか。佐々並郵便局では、旭村内で採れた産物だけの鍋物セットをゆうパックで皆さまのお宅にお届けできるとのこと。

この鍋物セットにはA・Bの2種類があり、旭村の特産品のささなみとうふをはじめ、田舎みそ、旭しめじ、明木しょうゆなどが詰め合せとなっているもの。Bセットには、ささなみコシヒカリ1.5kgがついている。12月だけの期間限定であるが、毎年600を超える申し込みがあるとのこと。お歳暮用品としても人気があるようである。また、同郵便局では、さわやかな飲み心地とあつ味満点の佐々並の地酒・銀



### 季節の特産物をお届けします

田舎っぺくらぶ

旭村内の季節に応じた野菜などを定期的にお届けしているのが旭村役場経済課内の「田舎っぺくらぶ」である。会員制をとっており四季に応じて村内の特産品を会員に届けている。会費3万円と2万円の2コースあり、3万円は年6回、2万円は年4回発送している。この9月には、新米の旭村コシヒカリを送送すること。現在関西を中心に、約80名の会員がある。会員の申込期間は、毎年4〜6月となっているが、随時申し込みは受け付けているとのこと。

旭村役場経済課内・田舎っぺくらぶ  
TEL  
08388・55・0211

### おいしい新米を・・・むつみ村

恵まれた地形や

気候でおいしく

実りました

むつみ村の新米

今が、稲刈りがまっ最中のむつみ村の米は、光り輝くむつみ米として知られている。銘柄はコシヒカリとヤマヒカリで、9月20日からは新米の出荷も始まるとのこと。

豊かな自然が残るむつみ村は、米作りには欠かせない土質・気候に恵まれており、ここで獲れたお米は山口県内でもおいしいと評判。宅配も行っているという。コシヒカリ5kg2600円、申し込み JA山口阿武吉支部支所  
TEL  
08388・6・0979

### 新鮮な果物を・・・田万川町・阿東町

歯触りは

日本人向き

徳佐リンゴ組合

阿東町徳佐のリンゴは、育成までの日照時間が長く、糖度が16〜18度と甘く、おいしいとの評判。また、暖地でのリンゴであり、水分も多く東北のものとは比べられず日本人向きという。今、同町内にある各リンゴ園ではちょうどリンゴ狩りのシーズンを迎えており、リンゴ狩りに来る親子連れなどの姿が多く見られる。11月中旬まで行われるとのこと。宅配も行っている。

徳佐リンゴ組合  
TEL  
08395・6・0553  
FAX  
08395・7・0767

無袋栽培で

できた梨

JA山口阿武小川支所

田万川町の小川地区では、梨(20世紀)の出荷の最盛期を迎えている。益田市や萩市からの独自注文も多いため、この梨でお勧めは、新水・幸水の銘柄である。梨に袋をかけない無袋栽培で、直接日光を当てて育てるために糖度が高く、甘くて美味しいとのことである。特に、今年は天候にも恵まれ出来が非常に良いとのことである。

JA山口阿武小川支所  
TEL  
08387・40121  
FAX  
08387・40185

### 地元の素材にこだわる・・・福栄村

地物だけで作った

漬け物セットを

どうぞ

ふくふくセット

福栄村紫福地区に平成2年オープンしたふくふくセンターでは、地元の素材だけを使い漬け物セットを製造加工している。摘果メロンのかす漬け、千両なすのからし漬け、ふきのつくだ煮、なすの醤油漬けなど漬け物セットと人気商品である生味噌をセットにして販売・宅配している。

特に生味噌は、昔ながら手づくりにより味噌本来の味を保っているとのこと。この味噌、個人からの委託



加工もしているとのこと。30kgが5000円(材料費を含む)となっている。ただし、材料の関係で12月から3月までと、6月となっているのでご注意ください。ふくふくセット 2500円  
福栄村ふくふくセンター  
TEL  
08388・53・0133

### 帰郷のたびに、気に入った秋焼を買って帰るのが楽しみ

萩商業高校時代、軟式テニスで毎日真っ黒になって練習したことを思い出し、相島先生が部の顧問で厳しかったけれど、親身になって指導していただいたことを覚えていきます。汽車通学で、朝6時過ぎに家を出て、東萩から学校まで往復しました。今ならよくあれだけ歩いたものだと思いますが、その頃は友達とお喋りしたり、途中の店でパンを買って食べたりにしてましたから全然遠いと思っただけです。これからは隣近所の人にも秋の味として自慢していきます。

また、「うに」「かまぼこ」「しそわかめ」は秋を思い出させてくれる味です。主人は結婚するまで「うに」を食べなかつたんですが、いまでは好物の一つになっています。これらは隣近所の人にも秋の味として自慢していきます。

### 懐かしの店

貸本 八丁読書クラブ  
栗屋マシコさん(江向)

皆さんの中で「貸本」と聞いて、心を弾ませる方も多いのでは。かつて庶民の楽しみは読書であり、その本を手に入れる代表が貸本屋であった。その貸本屋が現在でも萩市内で営業されていることをご存じでしょうか。「八丁読書クラブ」、萩自動車学校の近くにあるこの貸本屋は、開業40年を迎える歴史ある店である。現在の店主、栗屋マシコさん(78歳)は開業当時を振り返り「何しろ商売の経験が全くなかつたからね。素人がするのだから、資本も少なくてすむから始めたのです」と少し照れながら語る。

以前は「秋貸本組合」まであるほど盛んだった貸本業も、テレビの波に



八丁読書クラブの前で

押され、今では姿を消しつつある。「子供の数が減ったからね」と寂しそうに語る栗屋さんだが、今でも足繁く通う常連のお客が来るのが楽しみだという。「毎日来る人が姿を見せないとちょっと心配になりますね」と笑う。

子供の頃、この店に通われていた方も多はず。帰省された折りに立ち寄ってみてはどうだろうか。きっとそこには懐かしい顔が笑って迎えてくれるはず・・・。



# 大河ドラマ「毛利元就」決定にわく

## 萩毛利のルーツ安芸吉田町を訪ねて

吉田町は中国自動車道高田インターから車で約10分



来年は毛利元就の生誕500年にあたり、NHKテレビが戦国武将、毛利元就を大河ドラマでとりあげることになっている。

元就は情報収集にすぐれ、智略の武将として今日でも大いに参考になる人物であるが、もし元就が生まれていなければ、歴史上で萩は存在していなかったのではと、ふと思ったりする。

そこで元就が生まれ、そして75年の生涯を終えた広島県高田郡吉田（よしだ）町を訪ねてみた。

吉田町のほぼ中央にある標高400メートルの郡山（こおりやま）が、吉田毛利発祥の地であり、この国の史跡のなかに毛利元就の墓所があった。線香とローソク一本ずつ入った封筒をもち、ゆるやかな坂道を約3分ばかり登ると、木立のなかに「従三位大江朝臣（あそん）元就」の墓碑が見られた。

元就の先祖は、鎌倉幕府の官僚・大江秀光で、相模国毛利荘（神奈川県）に住んでいた。そこから毛利を名乗ったと伝えられている。そして南北朝時代になつて毛利氏は相模国から安芸

国の吉田荘へ地頭となつて転動したのである。郡山の南東ふもとには建武3年（1336）に築かれた旧本城跡があるが、これは毛利時親が造ったもので、吉田荘に入った毛利氏の最初の城と見られている。

郡山城跡は急坂なルートであるが、本丸、二の丸、三の丸をはじめ四方にのびる峰々に200以上の石垣と全山要塞化した山城は、はじめの旧本城から190年を経て毛利元就が完成させたものといわれる。

元就の武将としての名声を決定づけたものは、尼子軍3万の来攻を郡山城で防ぎ撃破した合戦、陶晴賢軍2万を壊滅させた厳島合戦、尼子軍の息の根をとめた出雲・富田月山（とだがつさん）城攻略合戦である。

山口の大内氏と出雲の尼子氏の大勢力のはざまにあった元就が、尼子から大内に傾いたことで尼子の大軍に攻められることになったが、全山要塞化した郡山に一族家臣8千人が立てこもって防衛をかためたという誇りはいまも語り継がれている。

この一致団結の精神が有名な「百万一心（ひやくまんいつしん）」碑によって伝えられ、元就墓所内に建つ。

碑は元就が郡山城を築城するとき、人柱に代えて大石に「一日一心」と読めるように刻んで鎮めにしたというもので、目を一にして、力を一にし、心を一にするという共同一致の精神を示している。

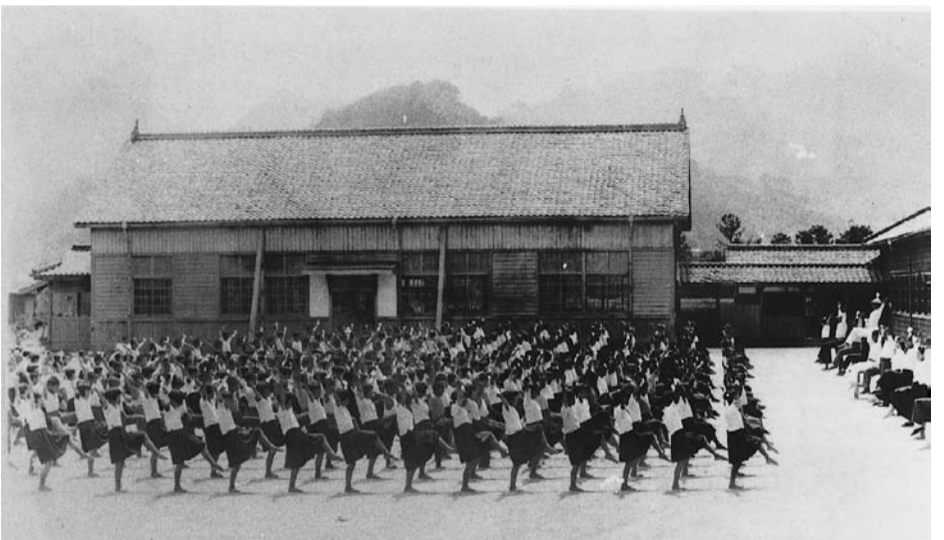
毛利元就は明応6年（1497）重臣福原氏の居城鈴鹿城で誕生、元龜2年（1571）6月14日、郡山城南西のふもとの居



館（いかん）で一生を閉じている。現在、この居館跡は広島県立少年自然の家になっており、「三矢の訓」の石碑が建っている。また最近、元就墓所への入口前駐車場に、尼子軍来攻のさいの陣所跡を示す説明板が設置された。駐車場のある郡山から南の方角に對面する青山と光井山の尼子陣所跡を指したもので、吉田町史跡として保存していることで、456年経つた今日も「元就の墓にはまいらぬ」という出雲人の怨念を和らげるかのよつである。

そして元就の孫、毛利輝元が広島に城を築くまで256年間、中国地方の城下町としてにぎわつた安芸吉田が再びライトを浴びようとしている。

だが元就が没して33年後には関ヶ原に敗れた輝元が萩の地に封じられ、捲土重来を期して城下町を開き、萩毛利260年の歴史が始まるのである。知将・元就が夢にも予想できなかったことだろう。（元毎日新聞萩通信部長 中津嘉和）



昭和16年の三見小学校の風景。子どもたちが体操する向こうに、木造の校舎が見える。昭和36年に、現在の鉄筋コンクリート造りの校舎に建て替えられた。

### 萩の生活・風景を短歌に

山眞満江さん（萩市浜崎）

女学校卒業間際に書きたりし履歴書つひに使ふことなし

（平成8年9月1日付毎日新聞「毎日歌壇」より）

萩を題材にした短歌が、毎日新聞に載っているのをご存じだろうか。

萩市浜崎でつり具店を経営している山眞満江さんが寄稿しているものである。「短歌は昭和42年から習い始めました。つり具店をやっているの、外出する機会が少なく店から見える萩の風景や身の回りのことを短歌の題材にしています」と、山眞さん。

昭和58年、61年と過去に



### 夏みかんの“香り”を商品化

AD 狭々堂アトバくどこ 代表・漆野憲一さん



漆野憲一さん

このほど、萩市のAD 狭々堂では夏みかんの“香り”を商品化して販売を始めた。

この商品は、漆野さんが夏みかんの“香り”という付加価値を商品にと考え、高砂香料株式会社（本社・東京）と共同で開発したもので、全国に先駆けて食品エッセンスを香りグッズとして高砂香料に相談し出した。

「萩の特産品である夏みかんの香りを商品として何とか売り出すことができないかと思索して、以前広告会社勤務の時代に取引のあった高砂香料に相談し出した。」と、漆野さん。

来上がったものです。今までのパッションフルーツ、アップル、メロン、マンゴーの香りに続いて5種類めの香り商品となります。発売後、売れ行きも順調に伸びています。市の要望もあり今は、夏みかんの花の“香り”が商品化できないか研究中です」と、漆野さん。

遠く離れていても、ふるさとの香りが身近で感じられる商品はいかがだろうか。夏みかんの香り1本（20g入り）580円

問い合わせ 萩市椿東新川南区パールビル303  
AD 狭々堂 T E L (F) A X 兼用) 0838266456



### 我が家の言い伝え

「いとこ煮」の由来

毛利輝元公が萩城築城の落成祝賀会に加賀百万石城主等が参加して開催された。その時茶懐石料理に突出しを始め前菜等次々と料理を出して行く内、次の料理の出番は箸洗のお平碗を出す事になっていった。その時、料理手伝いの1人が何を慌てたのかお碗用の箸洗料理を側に作ってあった汁粉（ぜんざい）の鍋の中の全部を入れてしまった。

料理長は頭を抱えたが、作り直す間もなくお叱りを覚悟でこの品をお碗に入れて客室に運んだ。お客の殿様方は「酒の上とは申せ此の様な珍味を食した事が無い。これは美味しい」と異口同音に申し、「此の料理は

何と申すやら、また作り方を教えて下され」との事で、毛利公も一口食されてから「拙者も初めてで御座る。少々お待ち下され一寸料理長に尋ねて参りましょう」と、調理場に行つた。調理場に訪れてみると、料理責任者以下みんな白装束で両手をついて平頭。輝元公は「これはどうした事だ」と聞かると、「箸洗用のお碗料理を汁粉の鍋に間違つて一緒にしましたので、殿のお叱りを覚悟の上で打ち首にされてもとの白装束姿で御座居ます」と申し出た。

輝元公は驚かれ、「これを申すぞ。本日のお客人方は、今出した料理を大層お喜びになり、此の料理の名前と作り方を教えて呉れとの事じゃ。各殿方はそれぞれ帰

城され各藩で作らせるとの事じゃ」との言葉に、料理長は「名前を付ける処か作り方を教えるものでは御座居ません。料理人として大変な大失敗な事なのであります」と申し出たが、輝元公は「作り方は別として、名前が無ければならずお客人方に料理の名前を知らせぬ訳には参らぬので、何と言う名前を付けるべきか」と考えた。そこで、本日の料理責任者は己の従兄弟で、従兄弟が作った料理だから咄嗟に客席に戻られて、「作り方は何れ後日送り申しますが、料理の名前は、従兄弟と申すものださうです」と報告されたとのこと。

その後、萩藩の名物料理の「いとこ煮」になつたとか。

大阪市在住 室田義正（本籍・萩市堀内）





萩市内のほぼ中心部に、都会風のおしゃれな店がオープンした。その名も「ビアシティはぎ」。店に入ると、カウンターやテーブルのほかに座敷の間が広がり、外見とはまた違った雰囲気。

座敷の間が8部屋あり、キッチンが仕切られている。落ちついて食事できるようなとの末永さんの配慮である。1部屋で約6名程度。これなら家族で来ても十分くつろげそうだ。また、部屋をつなげれば最大60名まで収容できるので、団体でも大丈夫、とのこと。

### 社長インタビュー

ビアシティはぎ  
ゼネラルマネージャー  
末永光利さん

「くつろぎ」と「やすらぎ」の提供が店のモットー。現在15名のスタッフで頑張っている。2000円台の予算で十分に楽しめるのと。気取らずに行けそう。末永さんは、エンジニアとして約10年間東京での生活を経験。その時の経験が

### 都会的&くつろぎの同居する店

は、マイルドな飲みやすさのなかにもコクがあり、人気商品となっている。「ビアホール」といった意識は全然持っていない。その季節ごとに合わせた企画やメニューを考えています。来てみてからのお楽しみ、といったところでしようか。今後はカクテルをもっと充実させていくつもりです。この店ならではのメニューも作りたいたいでね。提供が店のモットー。現在15名のスタッフで頑張っている。2000円台の予算で十分に楽しめるのと。気取らずに行けそう。末永さんは、エンジニアとして約10年間東京での生活を経験。その時の経験が



営業時間  
平日 16:00~23:00  
日曜日 00:00~22:00  
問い合わせ 0758  
山口県萩市東田町19の4  
ビアシティはぎ  
0838-265001

## 萩市のイメージ 全国に発信 新しいシンボル マーク決定

このたび、新しい萩市のシンボルマークが決まった。

これは、萩市の21世紀の新しいまちづくりの指針となる「萩市長期展望」を作成する中で、新鮮な萩市にふさわしいシンボルマーク・キャッチフレーズの制定が必要との意見が出され、萩市で検討してきたもの。

新しいシンボルマークは、ローマ字表記のhagiのhを表現したもので、シンボルマークの縦軸に時間の流れ（歴史の重み）を、横軸に萩市の持つ

文化・伝統及び自然の量を表し、萩市が歴史的な文化都市であること、豊かな自然景観のまちであることを表現している。

スラッシュ（/）の区切りの斜線の部分）は現在を表し、過去から現在にいたる時間の流れとともに培ってきた文化や伝統の重みを認識した上で、これらを新しいまちづくりのために再編成し、21世紀に向かって大きく前進する萩の姿を表現しているもの。



私のお店  
東京都港区赤坂  
料亭「ざくろ」  
TBS店

東京都港区赤坂5丁目TBS会館地下  
03-3582-6841

都内赤坂のTBS会館地下にある料亭「ざくろ」では萩の見島周辺でとれる新鮮な魚介類が食べられる。現在、都内に6店舗を誇り日本料理からしゃぶしゃぶ、イタリア料理まで、本格的な料理が味わえる。お薦めは、今が旬の日本海でとれたアジ。刺し身やたたきが3~4千円から。また、座敷で楽しめる本格しゃぶしゃぶは、2万円前後のコース。こだわりで料理通のあなた、いかがでしょうか。

## 二つの

### 留魂録



留魂録（松陰神社蔵）

吉田松陰は、安政6年（1859）10月27日午前、江戸伝馬町の獄舎において死刑に処せられた。「留魂録」は、処刑が執行される前々日の10月25日から書き始められ、前日26日の夕刻に書き上げられた。いわば松陰が門下生たちにあてた、遺書ともいえる

きものである。すでに松陰は死刑の宣告を覚悟しており、「留魂録」には幕府役人の取り調べの様子や獄中の志士たちの消息、さらには松陰自身の心境と後に続く同志たちへの遺言が切々と記されている。「留魂録」の松陰自筆本は二つに分かれ、一つは刑死後、間もなく江戸の飯田正伯・尾寺新之丞から、萩の高杉晋作・久坂玄瑞・久保清太郎あてに送られたが、残念ながら現存しない。いま一つは、伝馬町獄の同囚沼崎吉五郎に託された。沼崎は、その後三宅島へ遠島に送られたが、赦免されて明治9年（1876）、当時神奈川県令であった野村靖（松陰門下生、のち内務・通信大臣）に、肌身離さず所持し続けていた「留魂録」を手渡した。そのいきさつ

### 松陰遺書「留魂録」の行方

り、取り帰り候由にて野村精之助（野村靖のこと）方へ持参候。この「留魂録」は明治24年、萩の松陰神社に所蔵されるに至った。薄葉半紙4つ折り10枚に墨筆で細書きしてあり、折りたたみ跡には垢が深く染みつき、沼崎の流刑十数年にわたる保存の苦



東京の松陰神社（世田谷区）



松陰神社内の松陰墓

### 彩陶庵が ホームページを開設

萩市呉服町にある萩焼ぎやらりい「彩陶庵」では、この6月からインターネットのホームページを開設した。

ホームページには、萩焼作家の展覧会スケジュールや萩焼入門、山口県立萩美術館・浦上記念館等の美術館情報、萩エリア情報などが入っており、内容も各項目ごとに任意に更新してあるという。

ホームページアドレス

http://www.johoyamaguchi.or.jp/saito-an/  
電子メール  
saito-an@johoyamaguchi.or.jp



# 情報アラカルト

## 東北地区

- ◆市民劇場「早春譜」  
萩の青年と会津の娘の恋愛物語です。  
と き 11月24日(日)午後1時～  
ところ 会津若松市・會津風雅堂  
問い合わせ 0242・27・0900
- ◆萩焼作家の個展
- 岡田裕作陶展  
と き 10月29日(火)～11月10日(日)  
ところ 福島県福島市・大月画廊

## 関東地区

- ◆姉妹都市の観光と物産展  
萩市と姉妹都市の鎌倉市で「姉妹都市の観光と物産展」が開催されます。萩市からも観光パネルのほか、海産物や萩焼などが出品されます。  
と き 9月14日(土)・15日(日)  
ところ 鎌倉市・中央公民館ロビー(物産展)、市庁舎ロビー(観光パネル展)
- ◆東京指月会総会  
東京指月会の総会を次のとおり開催します。今年は、萩からCATV(萩ケーブルネットワーク)が訪れ同窓会取材します。また、萩のまちの近況をビデオで紹介し、多くの皆さんの参加をお待ちしています。  
と き 10月18日(金)午後6時～  
ところ 千代田区丸の内北口・日本工業倶楽部
- ◆第5回萩・世田谷幕末維新祭り  
すっかり世田谷の名物となったこの祭りは、今年で5回目を迎えます。萩の物産展や萩焼の陶芸教室、萩明倫小学校と世田谷若林小学校の絵画交流展などが開かれます。また、奇兵隊パレードも披露されます。  
と き 10月19日(土)・20日(日)  
ところ 世田谷・世田谷松陰神社、松陰神社通り商店街
- ◆第9回圏域美術家展  
萩出身の女性日本画家・内田清虹の作品が出品されます。  
と き 10月19日(土)～10月27日(日)  
ところ 清瀬市・郷土博物館
- ◆伊藤博文公墓前祭  
と き 10月26日(土)午前11時～  
ところ 品川区西大井6-10-18
- ◆農林水産まつり  
山口県の農林水産物が出品されます。  
と き 11月1日(金)・2日(土)・3日(日)  
ところ 東京都明・東京ビッグサイト
- ◆第18回武蔵野美術家展  
萩出身の女性日本画家・内田清虹の作品が出品されます。  
と き 11月14日(木)～11月24日(日)  
ところ 三鷹市・武蔵野市民文化会館(アルテ)
- ◆萩焼作家の個展
- 坂高麗左衛門展  
と き 9月25日(水)～9月30日(月)  
ところ 横浜市・横浜そごう
- 三輪和彦作陶展  
と き 10月1日(火)～10月6日(日)  
ところ 東京・日本橋三越本店6F特選画廊
- 小田光治作陶展  
と き 10月9日(水)～10月22日(火)  
ところ 東京・日本橋高島屋
- 納富晋作陶展  
と き 11月3日(日)～11月9日(土)  
ところ 東京・丸善日本橋店4Fギャラリー

## 東海地区

- ◆萩焼作家の個展
- 「ぬくもりと彩りのうつわ」展  
萩焼作家・樋口大桂の作品が出品されます。  
と き 9月12日(木)～9月17日(火)  
ところ 名古屋市中区・妙香園画廊

## 関西地区

- ◆明治維新防長殉難者顕彰会  
と き 10月20日(日)午前9時30分～  
ところ 京都市東山区・東福寺退耕庵

- ◆京都山口県人会懇親会  
と き 10月20日(日)午前9時30分～  
ところ 京都市東山区・東福寺退耕庵
- ◆第3回萩同郷会  
4年に1度の萩高・萩商・萩工・萩光塩出身者の合同同窓会を次のとおり開催します。多くのみなさんの参加をお待ちしています。  
と き 11月17日(日)正午～  
ところ 大阪市北区梅田・大阪弥生会館
- ◆萩焼作家の個展
- 内村幹雄作陶展  
と き 10月30日(水)～11月4日(月)  
ところ 大阪市梅田・阪急百貨店
- 現代陶芸 7つのメッセージ展  
萩焼作家・三輪龍作の作品が出品されます。  
と き 11月8日(金)～11月13日(水)  
ところ 大阪府守口市・京阪百貨店内ギャラリーオープンアーツアンドサイエンス

## 中国地区

- ◆たちばな会広島支部総会  
たちばな会広島支部の第38回総会を次のとおり開催します。多くのみなさんの参加をお待ちしています。  
と き 10月25日(金)午後6時30分～  
ところ 広島市南区・シティホテル広島
- ◆広島指月会発足総会  
広島指月会発足総会を次のとおり開催します。多くのみなさんの参加をお待ちしています。  
と き 11月10日(日)正午～  
ところ 広島市中区・メルパルク広島
- ◆萩焼作家の個展
- 坂高麗左衛門展  
と き 10月3日(木)～10月8日(火)  
ところ 広島市・福屋
- 特別展「女はどう表現されてきたのか」  
萩焼作家・三輪龍作の作品が出品されます。  
と き 10月9日(水)～11月10日(日)  
ところ 岡山市・岡山県立美術館
- 兼田佳炎作陶展  
と き 10月29日(火)～11月18日(月)  
ところ 広島市・広島そごう

## 九州地区

- ◆萩焼作家の個展
- 西日本選抜精鋭作家展  
萩焼作家・田中秀男、田中克敏、中村真一の作品が出品されます。  
と き 9月19日(木)～9月23日(月)  
ところ 北九州市小倉北区・西日本総合展示場(18回西日本陶磁器フェスタ)
- 世界炎の博覧会 国際陶芸アカデミー会員展  
萩焼作家・三輪龍作の作品が出品されます。  
と き 9月27日(金)～10月13日(日)  
ところ 佐賀市・佐賀県立美術館

## 山口県関係

- ◆巴城会・たちばな会下関支部合同同窓会  
萩同窓会・巴城会と萩商同窓会・たちばな会下関支部の合同同窓会を次のとおり開催します。多くのみなさんの参加をお待ちしています。  
と き 10月18日(金)午後6時～  
ところ 下関市・亀山神宮
- ◆山口指月会総会  
山口指月会総会を次のとおり開催します。多くのみなさんの参加をお待ちしています。  
と き 10月18日(金)午後6時～  
ところ 山口市・湯田温泉・翠山荘
- ◆萩焼作家の個展
- 三輪栄造茶わん展  
と き 9月20日(金)～9月25日(水)  
ところ 徳山市・近鉄松下百貨店
- 第19回伝統工芸新作展  
萩焼作家・三輪休雪、波多野善蔵、三輪栄造、厚東建信、岡田裕、野坂康起、兼田三左衛門、松村拓夫、坂高麗左衛門、納富晋、兼田佳炎、玉村登陽、止原伸郎、山影陶道の作品が出品されます。  
と き 9月25日(水)～9月30日(月)  
ところ 下関市・下関大丸

- 守田唐七展  
と き 9月27日(金)～10月2日(水)  
ところ 阿知須町・ギャラリー「茅舎」
- 萩焼選抜作家秀作展  
萩焼作家・三輪休雪、波多野善蔵、厚東建信、兼田昌尚、坂高麗左衛門、中村真一、納富晋、玉村登陽、止原伸郎、松野龍司、山影陶道の作品が出品されます。  
と き 10月31日(木)～11月5日(火)  
ところ 下関市・下関大丸

## 萩市関係

- ◆萩魚まつり  
と き 10月13日(日)午前9時～  
ところ 萩市前小畑・萩漁港
- ◆山口県立萩美術館・浦上記念館オープン  
と き 10月14日(月)  
ところ 萩市平安古・山口県立萩美術館・浦上記念館
- ◆たちばな会総会  
たちばな会総会を次のとおり開催します。多くのみなさんの参加をお待ちしています。  
と き 10月19日(土)午後6時～  
ところ 萩市江向・萩商業高等学校新体育館
- ◆明経中学校同窓会  
明経中学校の同窓会を次のとおり開催します。多くのみなさんの参加をお待ちしています。  
と き 10月26日(土)午後6時30分～  
ところ 萩市土原・明経中学校体育館
- ◆維新史回廊シンポジウム  
維新研究者、文学者、文化・観光団体関係者、文化行政担当者等をパネラーとするシンポジウム。  
と き 10月27日(日)午後1時30分～  
ところ 萩市船津・松陰神社境内
- ◆萩商工会議所創立50周年記念会員大会  
と き 10月29日(火)午後1時30分～  
ところ 萩市江向・萩市民館
- ◆萩時代まつり  
と き 11月9日(土)・10日(日)  
ところ 萩市椿東・萩市民体育館、旧萩街道  
内容 時代行列(10日のみ)、長州大衆市、ふるさと商人市、時代展等
- ◆萩焼作家の個展
- 三輪栄造茶わん展  
と き 9月6日(金)～9月12日(木)  
ところ 萩市呉服町・ギャラリー「彩陶庵」

## テレビ・ラジオ

- ◆堂々日本史「シリーズ幕末京都薩長同盟」NHK総合テレビ  
今回は幕末の京都を舞台に近代国家が生誕する瞬間に光をあてる。中でも「薩長同盟」は、その後の日本史の流れに決定的な影響を与える出来事であった。その主役の一方は長州藩、そして萩、中でも松下村塾は「維新の故郷」といっても過言でなく、番組では松下村塾を中心に萩の歴史的遺産を紹介する。  
放映予定日 9月24日(火)午後10時～10時45分
- ◆日曜スペシャル「海の幸山の幸日本列島とれたてグルメ旅」～萩・津和野 北浦街道～日本テレビ(東京近郊)  
秋の北浦街道を萩・津和野・下関を中心に訪ねる。萩から長門そして下関までの日本海のとれたてグルメ旅が今回のメインテーマ。また、萩・津和野などの美しい街を味わい、江戸から明治への歴史を辿る旅でもある。林家こぶ平がレポーターとして出演。  
放映予定日 10月13日(日)午後2時～

## 書籍

- ◆「高杉晋作の生涯」 富成 博著 (新人物往来社)  
おもしろきこともなき世をおもしろく・・・長州の天才的革命児・高杉晋作の29年の生涯を詳細に辿り、史料で裏づけながら革命に奔走した跡をノンフィクションとして描く。生誕130年記念出版。  
定価 2900円
- ◆「明治維新の思想」 五十嵐暁郎著 (世織書房)  
革命家たちは難局をどう乗り越え、ビジョンを描き出していったか。公家は彼らに寄り添いつつ天皇制国家の実現を求め、西郷は故郷の地で命を断たれ伝説の人物に昇華した。そして敗者である旧幕臣たちは屈辱に耐えて近代化の実質的な担い手となった。  
定価 2678円